



## 2013 年度 麗澤大学情報系ゼミ 合同卒論発表会

日時 2014 年 2 月 1 日(土) 9:25-16:00 (9:00 開場)

場所 麗澤大学生涯教育プラザ 1 階 プラザホール

主催 大塚研究室(経済学部)・千葉研究室(外国語学部)

参加費無料・参加申し込み不要

一般参加可(学生でなくても参加できます)。※事前参加申し込みの方にはカラー印刷の資料を差し上げます。  
事前申し込み・お問合せ apply@penguin55.net までメールにて。

### -----プログラム-----

#### ■ 第 1 部 [9:25-10:15] ※ 9:25 より諸連絡・開会挨拶

##### [1] 関東圏の観光地の言語景観に関する比較研究

石塚 幸子, 石川 マリサ(外国語学部千葉ゼミ 3 年)

##### [2] 小学校英語の実態と課題 ～千葉県的小学校を例に～

榎本 有花(外国語学部千葉ゼミ 4 年)

##### [3] スマートフォンを用いた英語学習の実態と学習アプリケーションの評価

山田 祐未(外国語学部千葉ゼミ 4 年)

(休憩)

#### ■ 第 2 部 [10:25-12:10]

##### [4] インターネットショッピングにおけるレビューの相互評価の実態について

—「参考になる」レビューとは何か—

鈴木 真澄(外国語学部千葉ゼミ 4 年)

##### [5] 中・小規模大学は OPEN EDUCATION をどう活用できるか

—MOOC 参入の可能性とその効果を巡って—

西 恵理子(外国語学部千葉ゼミ 4 年)

##### [6] 大学生のコミュニケーションにおける非言語的要素の影響 ～しぐさを感じる不快感を中心に～

田岡 沙織(外国語学部千葉ゼミ 4 年)

(昼休憩)

#### ■ 第 3 部 [13:10-14:10]

##### [7] 落とし物表示管理システムの開発

松原 綾音(経済学部大塚ゼミ 3 年)

##### [8] WordPress を利用したゼミナール用ホームページの構築と運営

山室 志織(外国語学部千葉ゼミ 4 年)

##### [9] 一人暮らし老人の見守りシステム”あかずきんちゃん R”の開発

善養寺 紗弥(経済学部山下ゼミ 4 年)

(休憩)

#### ■ 第 4 部 [14:40-15:40]

##### [10] ヘヴィメタル受容の国際比較 —日本とドイツを中心として—

鎌田 翼(外国語学部千葉ゼミ 4 年)

##### [11] コミュニケーション機能を伴う電子書籍の活用に関する実験的研究

荒井 美香子, 西條 真未(外国語学部千葉ゼミ 4 年)

##### [12] ユーザー視点によるヘルプデスク対応データの分類とその応用 ～D3.js による可視化の試み～

阿部 一成(外国語学部千葉ゼミ 4 年)

#### ■ 総評・記念撮影

(2014/1/6 第 3 版)

## 発表概要

[1] 石塚 幸子, 石川 マリサ(外国語学部千葉ゼミ3年)

論題: 関東圏の観光地の言語景観に関する比較研究

概要: 「言語」景観とは公共空間に見られる文字言語、特にその多言語状況を指して用いられる概念である。本発表では、関東地方の観光地数箇所を対象にメインストリート 200メートルを位置情報付きの画像として撮影し、多言語状況の比較分析をおこなう。また、撮影データはGPSを用いてGoogle Maps上に登録して整理し、保存と分析に活用することを試みる。今回は、具体的な調査目標として以下の2点を設定した: (1) 首都圏の観光地(浅草)と郊外の観光地(川越)の言語景観にどのような違いがあるか。(2) 新しい観光地(スカイツリー周辺)と古くからの観光地(浅草)の言語景観にどのような違いがあるか。

[2] 榎本 有花(外国語学部千葉ゼミ4年)

論題: 小学校英語の実態と課題

～千葉県的小学校を例に～

概要: 2011(平成23)年より小学校で「外国語活動(英語)」の授業が実施されることになった。文部科学省は、社会のグローバル化に対応し、発達段階的にも柔軟性がある小学生段階の方が英語に慣れ親しみやすく、コミュニケーションへの積極的な態度を育むことができるとし、小学校からの英語教育の効果に期待する考えがあるようだ。しかし実際のところ、この必修化の導入については実施後2年が経過した今でも賛否が分かれている。本発表では、他教科の学力低下、「指導者への負担」、「他教科の時間数削減」、「母国語が疎かになる」という4つの問題を中心に千葉県の複数の小学校の教員にインタビュー調査を行い、実施された当時と現在の変化を調査し、現在の実態と今後の課題について考察する。

[3] 山田 祐未(外国語学部千葉ゼミ4年)

論題: スマートフォンを用いた英語学習の実態と  
学習アプリケーションの評価

概要: 本研究ではスマートフォンで動作する英語学習アプリケーション(以下「アプリ」)の利用実態を調査する。紙媒体と比べ、手軽に始められ、持ち運びに便利で、音声も聞くことができるアプリを活用し、実際に英語学習をしている人がどのくらいいるのか、また利用している人はどんなアプリをどのように使っているのか、どの程度使い続けることができているかを調査する。さらに、アプリ利用の感想を分析することで、継続して利用し続けることができるアプリの特徴やアプリを用いた英語学習の効果・課題を考察する。

[4] 鈴木 真澄(外国語学部千葉ゼミ4年)

論題: インターネットショッピングにおける  
レビューの相互評価の実態について  
—「参考になる」レビューとは何か—

概要: インターネットショッピングサイトには、サイトユーザ

一による商品に対する評価やコメント(以下「レビュー」)が掲載されるのが普通である。また、「役に立った」「参考になった」といったボタンが用意され、ユーザーがレビューを相互に評価する仕組みが備わっていることも多い。このようなレビュー情報はテレビCMや雑誌広告で発信される「作られた」商品イメージとは対極にある消費者の生の声であり、インターネットショッピングの利用者はレビューを大いに参考にしていることが予想される。本研究では、20代前半の一人暮らしの女性が購入することが想定される複数の商品を分析対象として、複数のインターネットショッピングサイトの商品レビューの実態を調査し、レビューの実態、特に「参考になった」と評価されるレビューの特徴の分析を通じて、どのようなレビューが我々にとって有益なレビューかを考察する。

[5] 西 恵理子(外国語学部千葉ゼミ4年)

論題: 中・小規模大学はOPEN EDUCATIONをどう活用  
できるか—MOOC参入の可能性とその効果を巡って—

概要: 今日、e-learningは自律的学習としてのツールの枠を超え、アプリによる携帯端末を使った手軽なオンライン学習、学習コミュニティによる情報共有、授業コース管理システムやポートフォリオといった教育組織全体のICT化など、大きなひろがりを見せている。高等教育の解放(open education)の取り組みとして今日最も注目されているのがMOOC(Massive Open Online Courses)である。MOOCは高等教育機関や非営利団体が提供し、大学の講義のような講座が誰でも無料で受講できる大規模公開オンライン講座である。現在、アメリカを中心に世界規模で展開されているMOOCであるが、日本でも普及の兆しを見せている。日本国内でも「日本の高等教育を国際的に孤立化させない」との観点からJMOOCが設立されたほか、草の根MOOCともいえる小規模なコース提供サービスもはじまっている。本研究では、現在運営されているMOOCの様々なサービスの特徴と、麗澤大学のような日本の中・小規模大学の参入という観点から比較する。

[6] 田岡 沙織(外国語学部千葉ゼミ4年)

論題: 大学生のコミュニケーションにおける非言語的要素  
の影響～しぐさを感じる不快感を中心に～

概要: 非言語コミュニケーションとは言葉以外の手段を用いたコミュニケーション方法のことである。私たちは普段のやりとりの中で意識せずとも多くの非言語的要素の影響を受けていると考えられる。大学生活の中で私たちはさまざまな人とコミュニケーションをとるが、自分のしぐさを意識する機会は少ない。しかし、自分たちが意図せず行っているしぐさが相手に不快感を与えていることがあるように思われる。本発表では、無意識におこなうしぐさを感じる不快感を中心に、私たち大学生が普段の生活の中でどのくらい非言語コミュニケーションを意識しているのかをアンケート調査を通して考察する。私たちは相手のどのようなしぐさに不快感を抱くのか? その不快感の大小は対象となる相手との関係性によって異なるのだろうか?

[7] 松原 綾音(経済学部大塚ゼミ3年)

論題: 落とし物表示管理システムの開発

概要: 本研究は Web と cgi を用いて、「落とし物表示・管理システム」を開発、運用することを目的としたものである。現在、学生支援グループに届けられる落とし物は、手書き名簿に記入し、落とし主が取りに来た場合、本人確認の後に返却するという方法で処理される。この方法を、落としものをした方、管理をする学生支援グループの方の両者にとって、より手間の掛からない簡単な方法にすることを目標に落とし物表示・管理システムの開発を行った。落とし物表示・管理システムは、Web インターフェースで落とし物情報を入力すると、サーバ上に落とし物の情報を記録し、かえで1階ラウンジ等に設置されている「麗澤電力・みえパネ」に表示する。

[8] 山室 志織(外国語学部千葉ゼミ4年)

論題: WordPress を利用した

ゼミナール用ホームページの構築と運営

概要: 本研究では、ブログと CMS の機能を併せ持つ WordPress を使用した大学ゼミナール用ホームページの構築について報告する。従来、ホームページをつくるには HTML やプログラミング言語、さらにはサーバ設定の知識が必要であった。しかし、ブログや CMS の登場により、HTML や FTP などの専門知識がない人でも簡単に Web ページの編集や管理ができるようになった。WordPress は多くのプラグインが備わっているためサイトの目的や機能に合わせてカスタマイズが可能である。本発表では、学内外の大学ゼミナールのホームページの現状を調査し、ゼミナールのホームページに一般的に必要なコンテンツが何かを調査する。また、調査結果をふまえ、ゼミナールのホームページの運営に必要な機能を WordPress を用いて実装し、実際にホームページの構築をおこなう。

[9] 善養寺 紗弥(経済学部山下ゼミ4年)

論題: 一人暮らし老人の見守りシステム

”あかずきんちゃん R”の開発

概要: 一人暮らしの老人を、情報技術を用いて見守るシステムを開発した。このシステムは見守り対象者の宅内に設置した赤外線センサーにより活動を記録し、反応がない場合に警報を発するもので、2011 年に試作された「あかずきんちゃんシステム」(大塚ゼミ 15 期生落合あゆみ)をベースに開発した。本システムは過去2年間の試験運用の成果から得られた問題点を改善し、より信頼性を向上させたものである。具体的には Arduino Ethernet というワンボードコンピュータを見守り対象者の宅内に設置して、サーバと TCP/IP による通信を行うことで状況を監視する。Arduino からは赤外線センサーの応答、ドアの開閉状況、温度などがサーバに送信され、サーバ上の CGI が活動状況を記録する。一定時間反応が認められなかった場合、緊急メールが保護者に送信されるという仕組みである。通常時は、Web で活動状況を確認することもできる。また、指定時刻にレポートを送信する機能も開発した。

[10] 鎌田 翼(外国語学部千葉ゼミ4年)

論題: ヘヴィメタル受容の国際比較

—日本とドイツを中心として—

概要: 本発表では、ドイツと日本の比較を軸に、ヘヴィメタルの各国での発展・受容の実態を調査する。ヘヴィメタルという音楽は、一般的に知られるより遥かに細分化された様々なジャンルが存在する。そのジャンルの中には、各国の伝統、歴史、宗教などから強く影響を受け、地域性が表れているものが存在する。ドイツなどヨーロッパでは特にその地域性の違いが顕著であり、自身の国の言語でその国の伝統や歴史を扱うようなバンドも多い。一方、日本でのヘヴィメタルの文化は海外出身のバンドの影響を受けたものが多く、地域性のあるバンドはあまり受け入れられていないように思われる。各国のヘヴィメタル受容の実態はどのように異なるのであろうか? 本発表では両国のバンド情報や CD の売り上げ情報を調査し各国のヘヴィメタルの特徴について分析をおこなうほか、アンケートを実施して、地域性や特定のテーマを持ったヘヴィメタルのジャンルに対する意識を調査する。

[11] 荒井 美香子, 西條 真未(外国語学部千葉ゼミ4年)

論題: コミュニケーション機能を伴う

電子書籍の活用に関する実験的研究

概要: 本発表では、bookpic (<http://bookpic.net/>)という Twitter や Facebook と連携してコメントを共有するコミュニケーション機能をもつ電子書籍サービスを用い、麗澤大学大学祭(麗陵祭) MAP を製作した。オンライン公開した MAP を大学祭期間中に使ってもらい、SNS への拡散がどれくらいできるか、そしてどれほど多くのユーザーと感情を共有することが出来るかを実験した。発表ではその経過と結果を報告すると共に、SNS 連携機能をもつ電子書籍にどのような活用方法があるかを考察する。

[12] 阿部 一成(外国語学部千葉ゼミ4年)

論題: ユーザー視点によるヘルプデスク対応データの

分類とその応用~D3.jsによる可視化の試み~

概要: 麗澤大学情報 FD センターは教職員・学生が使用する情報システムの導入、運用を行っている組織である。ユーザーからの申請や相談の窓口は情報 FD センターが委託するヘルプデスクが担当しているが、その問い合わせ件数は年間 5,000 件にも達する。ヘルプデスクへの問い合わせの対応記録は内部報告用にデータベース化されている。本研究では、ヘルプデスクの対応記録データベースをユーザー視点で分類し、問い合わせ内容の分析をおこなう。また、問い合わせ件数の多いカテゴリーの内容をユーザー向け Q&A として整理し、オンラインで公開する仕組みを考案する。さらに、問い合わせ状況を JavaScript ライブラリ D3.js のワードクラウドを用いて可視化し、Q&A に効率よくアクセスできるインターフェースを開発する。

(2014/1/6 第3版)